

東京白楊だより

vol.44

R03 8.31 (2021)

白楊ヶ丘同窓会東京支部
旧制函館中学校 函館中部高等学校
<http://kanchu.tokyo>

支部長挨拶
学校長挨拶
第45回オンライン
親睦大会予告
同期会だより
加納さんを偲んで
会員短信
評議員会報告

第67期 成田秀信 第71期 川村哲雄 第78期 岡部あさ子

市立函館博物館
←

コロナ禍のオンライン親睦大会 新しい試みへの挑戦



白楊ヶ丘同窓会東京支部長
第76期 昭和49年卒 白川正広

昨年から引き続き、新型コロナウイルスの影響が続いています。同窓生の皆様のなかには医療関係に従事されご苦労されている方も多くいらっしゃるものと思います。また、「緊急事態措置」「まん延防止等重点措置」に伴う、飲食店等の休業や時短営業の要請、あるいは、外出自粛の影響で事業に支障を来している方もおられることと思います。それぞれの皆様のご苦労をお察し申し上げます。

このような状況下で「三密」を避ける観点から、昨年は、例年予定されております「新人歓迎会」や秋の「親睦大会」も中止とせざるを得ませんでした。

一方で、昨年と異なるのは、大量のワクチンが輸入され高齢者から接種が始まっているという点です。直ちに状況が一変するわけではないものの、影響が緩和あるいは沈静化に向かうことを願っています。あらためて、同窓会の活動は、一つのところに世代を超えて集い、世代間の距離をなくして大いに語

り合う場を提供するものです。昨年は、「会報」の発行を除けば、ただただ自粛しておりましたが、大学の授業や会社生活ではリモート授業やテレワークが普及しているとの報道もあります。この状況が長期に及ぶとすれば、何か、これまでとは違う方法で同窓の皆様を結びつける方策はないものかと、若手幹事の皆様を中心に検討をはじめていただきました。

現在の同窓会の形式は当初から存在したものではなく、ただか40数年前、昭和50年代から始まったものです。皆さんも暗唱しておられる函館中部高校の校歌の四番に「限りなき流転のなかに」と歌われておりますように、時代の変化とともに形を変えていくことも、ある意味で必然なのかと思えます。青春の時と同じ土地、同じ校舎で過ごしたという、期を超えた共通の価値を共有し、年1回、再会する機会でもある「親睦大会」は中止とせず、一定の制約条件はあるものの、オンライン開催の運び

となりました。例年「50歳の期」が親睦大会の企画運営を担当し、次の期にバトンタッチするという仕組みも、今回は昨年、そのチャンスを享受できなかった「90期」の皆さんにお願いしております。会の段取りひとつとっても、なかなか以前のように集まって議論するようなことが困難な状況で、なおかつ、新しい試みに挑戦しております。この場をしのぐだけではなく、これから先の同窓会の発展的な運営につながる何かを生み出すことができればと考えております。

苦しい時にこそピンチをチャンスに変える知恵が出るものだと言われます。今後の同窓会の運営などに関しまして、ぜひ、会員の皆様からの前向きなご意見などもいただきながら、変化する状況に適切に対応していきたいと考えております。引き続き、皆様のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。





89期 長尾真人「駒ヶ岳」

輝かしい伝統の継承と 未来を見据えた教育

北海道函館中部高等学校
第40代校長

佐竹 卓

白川支部長様をはじめ、白楊した佐竹卓（たかし）と申します。微力ではありますが、道内多数の歴史と伝統を誇る名門へのご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。私は、昨年度の人事異動により市立函館高等学校から赴任して参ります。紙面をお借りして、学校の近況等についてお話しさせていただきます。

（1）コロナ禍での
学校生活

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染防止のため、三密を避け、手洗いとマスク着用の徹底という、新しい学校生活のスタイルを踏まえながら教育活動を進めております。幸いにして本校は、学級・学年閉鎖や学校閉鎖等の措置をとらずに現在に至りますが、これから夏休み明

けに向けて、第五波の到来による感染拡大が懸念されるため、一層の感染防止に努めていきたいと考えております。こうした状況下ではありますが、今年度は、昨年度実施できなかった白楊祭を実施することができました。感染防止のため、例年の3日日程を2日日程にして、一般公開をせずに実施いたしました。生徒会や実行委員の生徒たちが中心となって、感染防止に留意しながらの企画・運営を苦勞しながらやり遂げてくれました。部活動については、全校生徒の加入率が90%を超える中、テニス部、陸上部、剣道部、柔道部、バスケットボール部、水泳部、バレーボール部、弓道部、卓球部、囲碁・将棋部、LMC（軽音楽部）など多くの部活動が全道大会へ出場し、その中で陸上部、囲碁・将棋部、LMCが全国大会への出場を果たしています。昨年度は感染防止のため、高体連や高野連等の夏の大会が中止となり、当時の3年生はやり場のない悔しい思いをしましたが、今年度の3年生は、

高校生活最後の大会を全力で取り組むことができました。

（2）令和2年度 卒業生の進路状況

この3月に卒業した233名の合格状況についてお知らせいたします。国公立大学は延べ146名、私立大学・短大延べ260名、高等看護学校延べ16名、専修学校1名となっています。

特に、国公立大学146名の現役合格は、卒業生在籍数の約63%という過去最高の合格率となりました。内訳は、京都大学2名、東北大学4名、北海道大学18名、医学部医学科4名をはじめ、難関国公立大学にも合格者を輩出しています。私立大学においても、早稲田、慶応、明治、法政、立教、中央、青山学院など首都圏の大学に多数の合格者を出しており、コロナ禍においても、たゆまぬ努力を続けた生徒たちの頑張りを高く評価したいと思います。

（3）理数科導入

本校は昨年度から文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定を受け、世界で活躍できる科学系人

材の育成を目指しています。さらに、来年度からは、普通科1学級を理数科へ転換することになります。数学的・理学的な見方・考え方などを働かせ、科学的活動や観察・実験などを通して、その専門性を将来にわたって追究しようとする意欲あるスペシャリストを育成していきたいと考え、現在、各関係機関や函館市内の中学校を訪問し、理数科の教育内容等についての説明を行っているところです。



（4）結びに

本校は、これからも、「高きを望んで止まざる向上心。大地に根を張る生命力。逞しい成長力。」この「白楊魂」を柱とした両中の輝かしい伝統を継承しつつ、社会の動向や未来を見据えた教育活動に積極的に取り組んで参ります。同窓生の皆様にはこれからも本校へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

白楊ヶ丘同窓会 東京支部

第45回 オンライン 親睦大会のご案内

2021年11月20日(土) 14:00開演(16:30終了予定) **参加費無料**



Zoomで会いましょう



第43回親睦大会で久しぶりに顔を合わせました我ら90期。幹事は大変そうだけど、なんとか頑張りますかーということになりました。

最初の仕事は新人歓迎会。顔を合わせて一回打ち合わせ、以降はSNSでのやりとりだけで、チラシを作成し北海道に送り届けるプロジェクト敢行。

全天候型BBQなのでお天気の心配もなし、あとは親睦大会の幹事主催イベントをどうしたものか…などと考えていましたが。音にもお気配もなく忍び寄り目に見えないヤツのせいで、新人歓迎会も第44回親睦大会も中止となってしまいました。

宙ぶらりんとなってしまった90期ですが、今年度の第45回親睦大会幹事を引き続き担当することになりました。

東京ではオリンピックが無観客開催されましたが、緊急事態宣言は頻発され、ワクチン接種もまだ十分とは言えない状況。いつまで続くのか…親睦大会で晴れて一堂に会することはまだ難しいかもしれません。今年度はオンライン開催となり、誰にとっても初の試み。どうしたらモニター前の皆様に楽しんでいただけるか…雲をつかむような状態ですが、なんとか絞り出して11月にご披露いたします。どうぞ温かい目でご覧ください。

122期、123期のみなさまへ

ずいぶん時間が経ってしまいましたが、改めましてご卒業おめでとうございます。故郷を離れ胸膨らます新天地での生活。本来ならば直接お話できる場を設けたいのですが、目に見えないヤツのせいでなかなか難しい現状。

しかし白楊ヶ丘同窓会東京支部は頑張ります。今年度はオンラインでみなさまをお迎えします。東京にはこんなに多彩なOBOGがいるのね、と心強く感じられれば幸いです。友人以外のつながりを持つてみるのもいいかもしれません。是非ご参加ください。お待ちしております。

90期 幹事一同



オンライン開催のご説明

Zoomを利用して開催します。

皆様はご自身の端末からオンラインでご参加ください。

配信本部には、感染防止のため幹事期と大会運営担当理事のみが集まって、大会の進行を担います。参加する皆様は、インターネット環境さえあればどこからでも参加可能です。**東京支部の会員ではなくても函館中部高校の同窓生であればどなたでもご参加いただけます。**

配信本部において進行するイベントなどの他に、期ごと、部活ごと、出身中学校ごとなどの小規模のルームを用意いたしますので、お好きな場所に移動してご歓談いただくことができます。

今回は、初めてのオンライン開催ですので、Zoomのオンライン会議を多数手がけられている専門家の方に当日のオペレーションをお願いします。さらにZoom初体験の方など参加にご不安をお持ちの方にも楽しんでいただけるよう、手順説明書の配布、事前リハーサル、メールや電話によるサポートをしていただきます。

参加申込み

① Web申込み **おススメ!**

このページ上部に掲載のQRコード、または支部サイト(<http://kanchu.tokyo/>)を経由して、専用受付フォームにてお申し込みください。

② 返信用ハガキ

クロネコDM便で会報を受け取った方は、同封された返信用ハガキでのお申し込みも可能です。必要事項を記載してポストに投函してください(切手不要)。

- ① 今回はWeb開催のため、①・②どちらでお申し込みをされても東京支部からのお知らせを受け取ることができるメールアドレスが必要となります。
- ② メールの不達を防ぐため、①のWeb申込をお勧めしております。
- ③ お申込みいただいた方には、登録完了メールや当日までのご案内メールをお送りします。
- ④ 東京支部公式Webサイトに親睦大会専用ページを設け、情報発信をします。 <http://kanchu.tokyo>

参加費無料

ただし、インターネットへの接続料金が必要な場合があります。ご利用されるインターネット環境によっては、予想外の費用が発生する場合もございますので、ご注意ください。ご自宅などのWi-Fi環境でのご参加をお勧めします。



「盛夏の函館 金森倉庫と函館山」第78期 宮崎恒春



「JR函館駅前にできた新名所『HAKOVI VA (ハコビバ)』の大門と提灯」
昭和の懐かしい風景と美味しい食材に出会いました。

第87期 澤田元

「五稜郭公園 松林からみる桜」
五稜郭公園の松は桜より古く、樹齢約150年で幕末に植えられたという。子どものころ、五稜郭公園の堂々とした松林を写生した記憶がある。

第69期 沖崎剛



「旧英領事館」
毎年6～7月になると旧英領事館の庭園に美しいバラが咲き、訪れる人の目を楽しませている。白壁、青い縁取りの窓、そしてバラの彩りが美しい。

第69期 沖崎剛

同期会だより



※以下67期・68期・80期の同期会だよりは、2020年に頂いた原稿ですが、43号に掲載できなかったため、本号へ掲載させて頂きます。

第67期志丸会

井上保彦

「函中の思い出、同窓生のことなど」

瞬く間の75年が過ぎ、様々な出来事が少しずつ忘却の彼方に消えていきます。思い出される過去は前後入り乱れ、その中で残ってきた事象は、今を楽しむことを自分に許してくれます。

1960年、昭和35年8月の転入試験で函中1年生となり、都立日校の息詰まるような雰囲気から抜け出した自分がいました。

担任は3年間、変わらず丹治幹衛先生でした。漢文の横田先生、音楽の酒井先生、美術の鈴木先生、国語の岡野先生、物理の加藤先生の面影も思い出されます。

同級生の洞口善治、出町民夫、本庄康信の諸氏のうち、現在も函館在住の洞口君を除き、出町、本庄の両君はすでに他界されま

したが、彼らの絵画や彫刻への情熱が残されています。幸運にも彼らの素晴らしい作品を垣間見る事が出来ました。

洞口君と出町君は卒業後東京で活躍していたので、時々顔を合わせていました。出町君には、友人の結婚祝いとして木彫で桃の作品を依頼したことが思い出されます。素晴らしい出来でした。本庄君も亡くなってから旭川で個展が開かれ、作品を拝見しに旭川に伺いました。どれも素晴らしい作品で、出町君や本庄君の命が、今現在も続いていることを感じます。

初夏の雨上がり、鈴蘭のほのかな香りが漂う教室。

夏休み、広野町の浜で海水浴に戯れる同級生。

夏の陽陰の涼しさへの驚き。遠足と言えば、いつも大沼公園。立待岬の坂道を自転車を下り、転倒したこと。

冬の朝、ふる場の窓ガラスに出来る氷の美しい模様。

午後には無くなる教室の石炭。洞口君の母堂が淹れてくれたミルクティーの味。

出町君や本庄君の木炭でのデッサンの驚き。

平塚君がおばさんと呼んでいた1級上の先輩。

この10年近くは新宿御苑の志丸会に時々出席させて頂いています。みんな今でも高校生なんです。性格というものは変わらないのだと思います。

東京志丸会のメンバーも、花海さん、平塚さん、能戸さん、牧さんの他にも幾人かの方たちとお別れがありました。

新御苑では、安田さん、加賀さん、松田さん、西堀さん、相馬さん、宮川さん、石橋さん、岩間さん、小山さんとの函中時間が今も存在します。不思議です。

平成28年、2016年4月14日21時26分、熊本地震、自宅半壊、2017年自宅解体取り壊し、

2019年11月福岡市に転居。毎日、海と砂浜を眺め、朝日や流れゆく雲を眺め、時には砂浜を散策し、静かな時間を過ごしています。

令和最初の新年会は縁起物でとしゃれてみた。「恵比寿様」と「鯛」である。当日（一月十八日）は雪まじりの雨の中、二十名が参集してくれた。場所は恵比寿ガーデンプレイス三階の「銀平」で「鯛コース」を楽しんだ。全員が古希の峠を越えることができ、この一年も元気であるよう祈念して乾杯。最後に鯛めしおにぎりを土産にもらい解散した。六月例会は新型コロナウイルスの影響で今年度は中止とした。



さて、先日札幌同期の小田中静江（斎藤）さんから、七月の札幌支部同窓会で目黒たみを君が講演するので、同期の皆さん、時間ありましたら是非お出かけ下さいとの案内があった。函中スポーツ関係で講演者を探していたところ、現役ヨットレーサーの目黒君に白羽の矢が立ったとのこと。でも残念ながら、これもコロナウイルスで延期となりました。

（訃報）田島清光さんが本年（2020年）一月に癌で亡くなられたとの知らせがありました。ご冥福をお祈りします。毎年一月・六月に例会を開催。案内はメールでお知らせしています。

木戸宛お問い合わせください。
(icb10806@iifly.com)

第68期よいよ会

木戸正文

毎年二回（一月と六月）首都圏在住者を中心として同期会を開催している。

第80期 末広会 宮北正幸

私も80期は4年に一度の夏のオリンピックの年に同期会を毎回函館湯ノ川の花菱ホテルで開催しております。しかし昨年は還暦の年ということもあり3年目での同期会となりました。昨年は台風19号の影響で欠席者も出た中、今までの同期会の中では最多となる73名の参加となり今までになく賑やかな同期会となり二次会・三次会と多くのみんなと夜おそくまで語りあいました。

私事ではありますが、5年ほど前よりマラソンを行っておりま

す。今までの人生で、小学・中学・高校を含めて自分自身足が早いと思ったことがありませんでした。しかし、道南陸連のメンバーと一緒に練習を始めて、足の速い順にA B C Dの中で最初はCクラスで走っていたのですが、2・3ヶ月後にはAクラスで走るようになり今では3年連続で道南の駅伝で入賞することが出来ました。特に2年前の福島町駅伝では一般男子の部で30チーム中6位入賞となり自分のチームより上位は北海道自衛隊のセンバツチーム2チームと大学駅伝チームが3チームと言うことで、今までのスポーツ

人生で最もうれしい出来事でした。

又、北海道マラソンには、函館からは私を含めて同期のメンバー3人が毎年参加していますが、その激励会を札幌在住の同期のメンバーが開催してくれ、それも私にとっては非常に楽しい行事の一つとなっております。

60歳となった今を考えますと、自分で今まで気づかなかった特技を見つけることが出来、楽しいマラソンライフを毎日過ごしています。

最後に、今後の同期会は2年に1度開催することしようと思っております。



函館中印高校80期同期会「末広会」

第81期 高橋範夫

卒業40年を祝い同期会

2019年8月10日、81期生は、卒業40周年を記念して、ホテル函館ロイヤルで同期会を行った。駒井敏郎先生、梅田忠平先生、山本隆治先生、の3先生を招き、81期の45名が参加し、大いに盛り上がった同期会となった。当日は松永久君が司会を行い、まず黙祷を行った。還暦も近いこの年になると、先に逝ってしまう同期も増えてくる、それぞれの想いを胸に黙祷した。

次に幹事を代表して本田美晴君があいさつ。先生のあいさつを受けて、幹事の加島敏朗君の音頭で乾杯した。

2年前のことではあるが、今でも印象に残っているのは、ゴスペルシンガーとして活躍している8組の吉岡百合子さんが、阿部千尋君のギター伴奏で、イルカの「なごり雪」を歌ったこと。われわれ世代にとってはとてもなじみ深い歌で、しばし青春の思い出にひたった。

81期では、2011年の幹事期後、有志が「第二卒業アルバム」作成にとりかかり2017年末に完成した。80冊あまりを印刷・製本、最後に残っていた10冊を

当日会場に持ち込んだところめでたく完売となった。制作は大変だったが、実際に120ページを超えるアルバムをつくった期はないのではないかとと思う。最後に写真撮影をし、午後9時に閉会、ほぼ全員が2次会へと繰り出した。

五稜郭周辺のホテルに空きがなかったという話ではあったが、ホテル函館ロイヤルは函館山と大森浜が目の前に見える名門ホテル。個人的には函館らしさ、郷愁が一番感じられるホテルでとてもよかった。

火ばしら会

東京支部



昭和42年卒業
69期

72期(1970卒)東京同期会
「東京さつき会」は
コロナ収束を待って再開します!

函中 72期東京同期会(東京さつき会)
(広告協賛) 渡部総合法律事務所 新宿御苑前
電話 03-3355-5415(代)

株式会社イコー建設
一級建築士事務所

代表取締役 佐藤 一廣(69期)

〒165-0033東京都中野区若宮1-28-1 野方会館2F
電話:03(3223)0168(代) FAX:03(3223)0658
mail:k-sato@f-rn.co.jp

会員短信



令和元年8月〜令和2年7月迄の会費の払込票と返信はがきのメッセージから

●兼松昌男(S25年卒52期)
体調不良につき申し訳ないが欠席いたします。

●山内美年子(S26年卒53期)
脚を怪我し、入院療養中のため欠席いたします。

●山田幸平(S27年卒54期)
平成30年夏に脳梗塞を発症。自宅リハビリは無理な為、埼玉県の介護付き有料老人ホームに入居。左腕麻痺、左足少し不自由でホームでリハビリしながらの車イス生活なので欠席です。御盛会をお祈りします。

●山崎進(S27年卒54期)
幹事ご苦労様です。体調が今一ですので欠席させていただきます。

●佐藤(片山)俊子(S27年卒54期)
ご盛会を祈ります。

●阿部健(S28年卒55期)
いつも連絡ありがとうございます。高齢の身になり足が良くないので欠席いたします。御盛会をお祈り申し上げます。

●沼崎茂子(S29年卒56期)
高齢のため同期の方の出席がな

く、さびしい気がします。御盛会を祈ります。

●武石正之(S29年卒56期)
ご案内ありがとうございます。

●南卓夫(S29年卒56期)
いつも案内と白楊だよりをありがとうございます。親睦大会は欠席します。御盛会をお祈りします。

●根上義昭(S29年卒56期)
3回の脳梗塞のため歩くのが困難になりました。

●五十嵐克至(S31年卒58期)
ご案内ありがとうございます。体調不良で出席できません。ご盛会をお祈りいたします。

●巻口有恒(S31年卒58期)
体調悪く失礼します。

●広田洋吉(S31年卒58期)
ご盛会を祈念します。

●松下俊一(S31年卒58期)
毎年ご案内頂き、誠に有難うございます。今回も都合がつかず出席できません。ご盛会を祈ります。

●和田迪子(S32年卒59期)
何とか平穩に暮して居ります。

●岩淵安隆(S33年卒60期)
昨年、一昨年と函館での同窓の集まりでは幹事の皆さんには大変お世話になりました。今年は

秋、長崎での大学時代の仲間と集まります。

●上平慶一(S33年卒60期)
遅くなり失礼しました。今年から水江君が幹事となり活躍してくれると思います。いつもお世話になりありがとうございます。

●三浦常利(S33年卒60期)
幹事役、御苦労様です。

●星有一(S33年卒60期)
私用の為、出席出来ません。皆様に宜しくお伝えください。

●酒田宏(S53年卒80期)
今年度いっぱい退職、4月からのはのんびり暮らしたいです。

●山形リサ(H4年卒94期)
仕事の調整がつかず、今年も欠席とさせていただきます。とても残念です。毎年、秋がピークなもので本当にすみません。

令和2年8月〜令和3年7月迄の会費の払込票と返信はがきのメッセージから

●渡辺鉦一(S17年卒44期)
1、2月は心不全で入院。退院後は予防自己管理です。近くの買物は一人で行っていますが、遠出はできません。あと3年半で百才ですが、長生きするのが大変です。みなさんのご健康を祈ります。

●堀田善和(S20年卒47期)
コロナ問題で大変と思いますが、よろしく。何のお手伝いも出来

ずにいます。

●坂井敏克(S26年卒53期)
《53期生プロフィール》

1. 昭和20年に函館に入学生

2. 全員本年は米寿の祝い

3. 学業の他に援農援工場をした世代

4. ゲートルを巻いて軍事教練した最後の世代

5. 軍人勅諭の暗記を強制され

6. GHQに依り男女共学になった我々

7. 別れたことにより結びつき

仲間が、東、中部、西と別れた

が強くあり、函中20年会の同窓

会支部が函館と東京にあり、90

歳近いのに集って、三校歌を唱

う。青春時代の想い出を語り合

各幹事が居られるので、まだまだ続くことでしょう。東大に3

名入り、北大には50名入学した

珍しい53期だから。

●納代鉄也(S27年卒54期)
いつも御丁寧な連絡有り難く拝

見させて貰っています。小生54

期卒業生も年令87才となり、あ

と3年で90才です。昭和27年卒

●大澤(横川)晴子(S28年卒55期)
白楊だよりありがとうございます。感謝！

●皆川芳子(S29年卒56期)
いつも会報お届け下さりありがとうございます。同窓会の益々の御盛会に、お祈り申し上げます。

●多和田収(S30年卒57期)
ありがとうございます。函館、

中部高と大変なつかしく、いつ

も思い出しています。松風町、

大門、五稜郭、名所豊かなすば

らしい所です。

●吉田精吾(S30年卒57期)
コロナ禍の影響大きく、会合や

サークル活動は自粛ムードで楽

しみも半減状態です。

7月より多少動き出したものの

まだまだです。会報も淋しい限

りです。来年こそは盛大に開催

したいですね。その節はどうぞ

よろしく願います。

●羽田信英(S33年卒60期)
妻・隆子(34年卒)ともども元

気にしております。高校生活、

函館の事を懐かしく思い出しま

す。

●高山和喜(S34年卒61期)
令和2年春の叙勲で瑞宝中綬章

をいただきました。とうとう80

才になりました。会の発展を祈

●佐々木京子(S37年卒64期)

加納元雄様の訃報に驚きました。謹んでご冥福をお祈り致します。

●高野 晃(S38年卒65期)

コロナウィルスにおびえず、正しく対処して生き抜きましよう。小生昨年10月から関西(伊丹市)に転居し、関西支部の事務局を担当しておりますので、東京支部から移記をお願い致します。

「関西支部日より、会員短信26号」は白川様宛に一部お送りしました。

今後とも東京支部と連携し同窓会を盛り上げてゆきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

前支部事務局長・山川泰宏氏、母校恩師富田迪夫先生(物理・数学)の死去を関西支部の短信でお伝えしました。

●渡辺 千穂子(S38年卒65期)

連絡ありがとうございます。今年は色々な集まりにがんばって出席しようと思っていた矢先の「コロナ」で楽しみな東京行き、1カ月に1度か2カ月に1度、趣味(歌舞伎をみる)のために出かけ、「妹に会える」「墓参りできる」全てなくなりました。くやしい 悲しい

●加藤 繁子(S39年卒66期)

人類経験のないコロナ禍のなか、役員の皆様、活動ご苦労様です。私も例年お盆には函館帰省し、両親の墓参りをし、兄弟姉妹と会うのが唯一の楽しみですが、

残念ながら今年は断念致しました。一日も早く終息し、元の生活が戻る事を願っております。

●今井 浩三(S41年卒68期)

東京に10年おりましたが、昨年は札幌支部にもどりました。現在は札幌支部に属しております。

●和田 芳三(S42年卒69期)

会報をお送りいただき、有難うございます。不自由な世の中ですが、健康に気遣いながら、体力と気力を維持すべく心掛け、暮しております。

●花巻 省三(S42年卒69期)

年間予定についての適格なお知らせをお願い申し上げます。

●茅原 伴啓(S42年卒69期)

今年6月、中国駐在を終え、帰任しました。今後は東京支部親睦大会にも参加のチャンスがありますので、宜しくお願い致します。

●米崎 雅夫(S42年卒69期)

今度参加したいと思っています。8月で72才と成りました。遠い青春もなつかしく思い出しております。

●片岡 進(S44年卒71期)

気ままな独居老人になって12年。さらに気ままに、千葉と函館(大沼駒ヶ岳)を行き来するようになって8年になります。今の課題は「どっちで死ぬか?」です。私は故郷の地で死にたいと願っているのですが、子ども達は「面倒くさいことになるから幕張で死んで」と会うたびに

言います。どうなるか楽しみでもあります。

●近藤 丘(S44年卒71期)

東京支部会報をお送りいただきありがとうございます。今年は新型コロナウィルスの関係で色々なイベントが中止となったり、縮小されたりと皆様大変でご苦労をされていますが、宮城支部におきましても、総会が中止となり、年一回の同窓の親睦もままならない状況になっているのは大変残念なことです。早くこの感染症が終息し、普段の交わりが復活することを祈るばかりです。

●若林 靖史(S45年卒72期)

お世話になっております。一人暮らししていた母が他界して、もう6年経ちました。函館の光と風をときどき思い出すようになりました。今年6月から約2年間、某所で働くことになって、まわりの若さに驚いています。(小生68才)

●佐野 香苗(S45年卒72期)

ご無沙汰しております。理事の皆様にはいつも感謝しています。ありがとうございます。

●福島 陽子(S52年卒79期)

白楊様よりありがとうございます。大変ななかで発行していただき、ありがとうございます。

●竹村 弘美(S46年卒73期)

いつもお手紙をお送り下さりありがとうございます。ますますの白楊ヶ丘東京支部の発展をねがっております。

●中澤 満(S49年卒76期)

同期生は皆それぞれ進んだ道は異なりますが、高校3年間を中部高校でともに過ごしたという共通項でくられ、古くからの友人という感覚を憶えます。2021年は私も定年退職となりますが、もう少し青森県で仕事を進めることにしています。白川支部長は我が学年の代表として支部全体の運営に奮闘しておられ、心から敬意を表します。これからも益々の活躍を祈念しています。

●森本 立男(S45年卒72期)

コロナ禍で在宅勤務の続く毎日ですが、変わりなく過ごしています。皆様の活動の様子を楽しく拝読させて頂いています。機会があればと思っております。

にしています。

●中村 郁子(S52年卒79期)

永年住み慣れた駅チカのマンションに別荘を告げ、住宅型の老人ホームに住み替えしました。40数年前に東京に出て来た頃のようなワンルームの部屋。私の気持ちだけは変化しました。どう生きるかからどう終わるかへのシフト。たくさんさんの思い出のつまった部屋の断捨離はつらい作業でしたが、人の暖かさを思い出し、思われてきたのだと今さらながら気づきました。

●竹埜 正文(S57年卒84期)

毎年ご案内ありがとうございます。いつもご送付ありがとうございます。元気に過ごしています。

●長尾 麻里菜(H19年卒109期)

毎年の会誌のご送付ありがとうございます。自身の身のまわりのことに追われ参加等できず、心苦しい限りですが、皆様のこのような活動が、人と人、函館と心、そして中部とのつながりを絶やさない貴重なものであると思えます。

●酒井 耕一(S59年卒86期)

これからも運営の皆さまのご健勝とこの会のご盛会を心よりお祈り申し上げます。

●福島 陽子(S52年卒79期)

白楊様よりありがとうございます。大変ななかで発行していただき、ありがとうございます。

●竹村 弘美(S46年卒73期)

いつもお手紙をお送り下さりありがとうございます。ますますの白楊ヶ丘東京支部の発展をねがっております。

●中澤 満(S49年卒76期)

同期生は皆それぞれ進んだ道は異なりますが、高校3年間を中部高校でともに過ごしたという共通項でくられ、古くからの友人という感覚を憶えます。2021年は私も定年退職となりますが、もう少し青森県で仕事を進めることにしています。白川支部長は我が学年の代表として支部全体の運営に奮闘しておられ、心から敬意を表します。これからも益々の活躍を祈念しています。

「追悼」

加納元雄さん(71期)を偲ぶ



「また、『天国での同期会』で会おう」
東京支部71期評議員 成田秀信

コロナ禍の今年1月、突然同期の川村君から「加納が余命3カ月」と連絡がありました。メールや電話がまもなくなくなりつつあるので、彼がやっていた「函中同窓会東京支部評議員」を引き継いでとの事でした。取り敢えず安心させたく引き受けましたが、なんとか回復して会える日 wait していました。しかし願っても叶わず3月3日に逝去されました。

思えば入学制度が変更になり、君は中部に入学してきました。入学式では新入生代表の挨拶を堂々と述べていました。そして

在学中は生徒会長もやり「皆の為に尽力する姿」は昔からでした。

卒業後、50歳になる前に同期会があると知らされ、久しぶりに再会しましたが変わらず皆をまとめ、71期東京支部の会長として颯爽とやっていました。

ともすればマンネリ化しやすい同期会では、都内の観光名所

巡りや卒業50年逆修学旅行と称して函館に行くなど色々アイディアを出していただきました。逆修学旅行では、同行した60期

同窓生である恩師の水江先生による英語授業を聞き、小テストされるなど若かりし頃を思い出させてくれました。我々同期の要を失い大きな痛手です。

もう皆が趣味などに過ごしているところ、まだ仕事をしている君に「何時までやるんだ」と聞くと「頼まれて、会社を上場するので手伝っている」と言っていました。本当に頑張り屋さんでした。

長い間、同窓会東京支部を支え、尽力されお疲れさまでした。ゆつくり休んでください。そして愛すべき友よ、また天国

ですすでに旅立った同期仲間を集め、「天国での同期会」をやっています。くれ。

加納元雄君を思う

東京支部71期 川村哲雄(二組)

白楊ヶ丘同窓会東京支部の第71期評議員と函中第71期東京地区同期会幹事を20年余にわたり勤めた加納元雄(10組)君が令和3年3月3日に逝去しました。

一昨年の健康診断で膀胱癌を発見。昨年3月の手術後に一度は無事退院したのですが、その後の再発と転移から余命宣告を受けました。入退院の中で71期評議員の後任を成田秀信(10組)君に依頼し、成田君と白川東京支部長の了承を得ましたが、闘病に力尽きて旅立ちました。

3月7日の北鎌倉での葬儀には男女6名の71期同期生と白川東京支部長が参列して、ご家族による逗子市の火葬場への出棺を見送りました。また、東京地区同期会への登録者全員に訃報案内メールをしましたが、8組担任の水江彰一先生(60期)以下

18名からの追悼メールがあり、奥様にお届けしました。追悼メールを編集しての郵送は佐藤元嗣(8組)君からです。

加納元雄君の20年余の尽力に感謝し、心よりご冥福をお祈りします。合掌。



2018年新人歓迎会にて

加納元雄さんを偲ぶ

78期 岡部あき子

加納さんと出会ったのは、私が同窓会のお手伝いを始めた頃です。20年近く前になります。

最初の頃は、ウディ・アレンに似ている風貌から、気軽に話せないかもと緊張していたのですが、会議+飲み会、作業+飲み会で会うたび、そんな不安も解消されていき、お酒が入るとつい気を抜いてしまう後輩のタメ口にも寛容な方でした。

2008年の親睦大会は78期が担当でした。企画が進むもグループ対抗クイズ大会の要員が足りないことを相談すると、3秒後には「はい、要員やりますよ」と引き受けて下さり、当日は担当目印の学生帽をかぶり、場を盛り上げてくれました。

私はここ何年か、親睦大会の全体の司会を担当していますが、加納さんには大会中、常に目配り気配りして頂き、カバーしてもらったので、安心して進行することができました。

昨年8月下旬、東京白楊だよりの校正段階において、療養中にも関わらず、誤字脱字はもとより、全体のバランスなど、実に細かい赤入れがありました。

私の読み間違いから誤変換した箇所も、(しまった!)と気づく前にいち早く見つけ、「読み方はこうですよ。意味はですね」と、ユーモア付きの解説を速攻で返してくれたので、その早さ、知力、気力に驚き、回復することを信じて疑ってなかったのですが、それから半年後に亡くなられるとは。今でも信じられなく、残念で仕方ありません。

加納さんは常に裏方としてご尽力され、会報にも第24号から同期会だよりはじめ、随想などたくさんの方の投稿を残しています。一つ一つじっくり読み返し、改めて心に刻みたいと思います。

加納さん、鬼籍に入られた福津さんたちに会ってお酒を飲んでいられるでしょうか。苦しみのない世界から私たちを温かく見守ってくださいね。

科学的に正しい
「老いない生き方」とは？
第81期 俵 晶子



「サクセスフル・エイジング 老いない人生の作り方」丹尼尔・J・レヴィー著
アルク刊 2021年3月発売
1980円(税込) amazonにて販売中

大学卒業以来、30年以上編集の仕事に携わってきましたが、そろそろ第二の人生の過ごし方を考えなければと思っていた時期あるきっかけでこの本の翻訳をすることになりました。副業でしたが、内容にとても興味があったので、「次は何が書いてあるのだろうか?」と、毎日少しずつ楽しみながら訳しました。

著者のレヴィーティン氏は、カナダ出身の1957年生まれ、心理学者・脳神経学者。自身が60歳を超えた今、多くの人に心身ともに健康で充実した高齢期を過ごしてもらいたいと、この本を書いたそうです。そして彼

は、90歳、100歳になっても澁刺とした人生を送ることは、心がけ次第で十分可能だと言います。人生論的な内容ではなく、データに基づくサイエンスとしての方法論が書かれています。

著者は、充実した後半生を送るための一つの重大要因は性格だと主張します。中でも、定期的健康診断を受ける、約束を守るなどの「誠実な」性格の人は健康で幸福度が高くなり、全死因死亡率も低いという研究結果が出てくるそうです。また、幸せな高齢期を過ごすために最も重要なのは、仕事のキャリアやお金よりも良い人間関係だということも分かっているそうです。

なるほど。財産を蓄えるより、普段からいろいろな話ができる相手、何かあったら頼れる相手がいるような人生を築くことが大事なんですね。

一方で、記憶、知覚、感情などの生理学的な働きと年齢による変化についても取り上げられており、食事、運動、睡眠などの生活習慣を見直すことによって「生涯を通じて健康で、活動的で、幸福でいられる」方法が、数々の科学的な根拠とともに示されています。

とにかく、心身の衰えが多少なりとも気になり始めた年代の方々にとって、実践的で役立つ

内容が詰まっている本です。機会があれば、ぜひお手にとって、「サクセスフル・エイジング」を実践してみてください。



関西函館をおもう会
第81期 寺地徹



同期の松永さんから、「関西函館をおもう会」の紹介文を寄稿してくれと依頼されました。私はこの会に古くから参加しているわけではありませんが、ご指名でもと思えませんが、ご指名です。この会の成り立ちや活動（私が知っている範囲で）皆さまでに紹介したいと思います。

私が初めてこの会を知ったのは、今から4年前(2017年4月)です。新大阪のホテルで催された第36回総会・懇親会に参加しました。案内に、大阪の「海遊館」の館長が講演しますとあったので、特に知り合いもいませんでしたが、思い切って出席したのがきっかけです。館長は大阪の方でしたが、函館(北水産学部)で学生時代を過ごした縁で、この会に呼ばれたとのことでした。後で知りましたが、この会の会則に、入会・退会は「一期一会」を旨とすると記されています。来るものは拒まず、去るものは追わずの精神ですね。函館に何らかの関わりがあった、あるいは函館のファンだということだけで参加できるのが、この会の特色の1つであろうと思います。

おもう会は、今から40年前に「会員同士の親睦を図り、会の活動を通じて会及び郷土の発展と社会貢献に寄与する事を目的とする」(規約より)ことを目的に、関西在住の有志たちが設立したと聞いております。この会のもう1つの特色は、入会費や年会費を徴収しないことで、要は年1回開かれる総会・懇親会への参加者が会員!会の財政は参加費と物販の僅かな収益でまかなわれています。会の運営

は会長・幹事長を中心とする20数名の幹事が担っています(純粋なボランティアです)。幹事の年齢、職業、出身校はさまざまで、現在は会長(前会長も)、副会長、幹事長など、主だったところはすべて「東」出身の方です。昔は「中部」出身の方も目立っていたとのことですが、現在の幹事は63期の佐藤裕三氏と私だけです。

総会・懇親会には来賓として、ときの函館市長や市議会の議長、観光部など行政の方、「関西会」という故郷会の方、北海道の企業の方などがお越しになります。一般の参加者は関西一円から集まりますが、皆さん故郷を離れて久しいせいか、この年一回の、同郷の方との懇親の機会をととても楽しみにされています。コロナ前は総勢120名ぐらゐの参加者がありました(写真)。最初に参加したときは、新大阪のホテルで「イカ踊り」や「港おどり」が始まったのには驚きましたが(今はこの企画はない)、懇親会は物販もあり、抽選もありと、とても楽しいひとときです。同窓会の皆さまにおかれましては、関西で用事がある日をあえて「関西函館をおもう会」の総会・懇親会の前後に調整され、この会に参加されてみてはいかがでしょうか。

2021年度評議員会報告

2020年度収支実績および
2021年度予算 (単位:円)

	2020実績	2021予算
収入	年会費収入	147,000
	大会費収入	0
	寄付金収入	97,000
	会報広告収入	0
	その他	2
	合計	244,002
支出	大会関連費用	0
	会報関連費用	403,704
	その他事業	6,004
	諸会議費	0
	通信運搬費	18,244
	本部派遣費	0
	その他運営費	45,349
	予備費	0
	合計	473,301
	差引収支残	-229,299
	次期繰越剰余金	4,931,644

2021年度の評議員会も、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言下にあったため、書面協議とさせていただいた。その結果、以下の(1)～(4)につき、すべて承認をいただいた。

(1) 2020年度事業報告

親睦大会、新人歓迎会はいずれも中止。東京白楊だよりも、4ページでの発行となった。その他の活動も、必要最小限の活動にとどまった。理事会はオンライン形式で開催。現在の規約では、オンライン形式での理事会の開催は想定されていないため、今年度の規約改定で議論することとなった。

(2) 2020年度収支決算報告

2020年度は、コロナ禍にあり従来の活動が困難なため、年会費の徴収は任意でのお支払いのみとしたが、50名近くの皆様にお振込みをいただいた。決算は、会報発送作業が、これまでのように会員の皆様に集まってもらうことができず、外部に業務委託したこともあり、差引収支は229,299円の赤字となった。2021年度は、今年度の反省を活かし、収支改善の実現を図りたい。なお、真船監事より収支決算書が正しいことを承認された。

(3) 2021年度事業計画案

親睦大会は、オンライン開催を目指すことにした。対面の開催ではないこと、初めての試みであることを勘案し、参加費は無料とする。東京白楊だよりは、今年度は12ページまで増やすことを想定している。その他、(1)で示した規約改定、支部活動の活性化などアフターコロナにおいても持続的な活動ができるよう、種々の事業の実施を計画している。なお、今年度は従来に近い形で活動ができることが見込まれることから、年会費の徴収を行うこととした。

(4) 2021年度収支予算案

昨年度の収入・支出額それぞれの実績ならびに、今年度の活動計画を踏まえ、親睦大会収入の増額と諸経費の節減を織り込み、収入支出とも179万円の予算とした。

(5) 役員の選任及び異動の件

これまで長年にわたり理事を務め、東京支部の活動に貢献されてこられた加納元雄様が、令和3年3月3日にご逝去のため理事を退任された。

松永 久 (81期) 記

年会費のお振込みをお願いいたします

白楊ヶ丘同窓会東京支部は、会員の皆様からお寄せいただく年会費やご寄付により運営されており、年会費は3,000円となっております。昨年度は、例年通りの活動ができなかったにもかかわらず、お振込みいただきましたこと御礼申し上げます。

現在、「コロナ禍での安心・安全な同窓会活動」を目指して、若手メンバーを中心に活動しております。ご理解、ご協力を賜りたく、以下4行に口座を開設しておりますので、お振込みいただくと幸いです。

なお、お振込みの際には、下記の注意事項をよくお読み下さい。(会計担当81期 渡辺由美子 payment@kanchu.tokyo)

① 銀行口座名称: 「白楊ヶ丘同窓会東京支部」

みずほ銀行 溝ノ口支店 普通 2712051
三井住友銀行 鎌倉支店 普通 0202759
三菱UFJ銀行 用賀出張所 普通 0107761
ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキウ)店 当座 0124291

② 振込人氏名欄はスペースを空けずに、「期→卒年→氏名」の順でご記入ください。
例: 81S54ワタナベユミコ

③ 振込手数料が必要な場合は、恐れ入りますが、振込人様のご負担でお願いします。

ご寄付御礼

857673 60595852
期期期 期期期
加中葛宮長所柿古川中
戸澤西川澤明彦沢沢川崎田
茂満浩満子内隆治洋好
樹満浩満子内隆治洋好

昨年度は13名の方からご寄付を頂戴いたしました。ここに名前を掲載し、御礼に代えさせていただきます。(敬称略)

校正協力
山本理香 桐山啓子 長尾真人

(いずれも89期)

10年前より会報の編集に携わり現在のオ
イルカラーの形になりました。今年から
後輩にバトンを渡します。時代の変化で
又新たな会報の形に進化するかもしれま
せん。
今年71期の加納さんが亡くなって会合時
の加納節が聴けなくなつて、毎回赤ペン
先生の様な一字一句の校正が無くなるの
も寂しい限りです。この場を借りてご冥
福をお祈り申し上げます。(山田朗 73期)

度重なる緊急事態宣言の発令、長引く自
粛生活、帰省どころか外に出るのも憚ら
れると、日々憂鬱に過ごしている今だか
らこそ、少しでも日常に近づけるべきで
はないか、との声があがり本会報を発行
する運びとなりました。新しい日常の中で
ZOOM、SlackといったICTツールを駆使しながらの編集作業となり色々
苦労もありましたが、無事に発行するこ
とができました。この会報がお手元に届
く頃には収束に向かい、日常を取り戻し
つつある未来を祈ります。

編集後記

東京支部
ウェブサイト

